

2025大阪・関西万博に関する日本膜構造協会の活動報告

Activity Report of Membrane Structures Association of Japan on Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan

喜多村 淳*1

2025年4月13日～10月13日の6カ月間、2025大阪・関西万博が開催され、膜構造・膜材料がとても多く活用された。日本膜構造協会や膜構造の業界にとっても特別な年であったため、さまざまな活動を行った。ここにその内容を記録する。

1. 活動内容の種別

日本膜構造協会（以下、協会という）の活動としては、主に以下の4つである。

- ・膜構造建築マップ（EXPO2025 大阪・関西万博）作成
 - ・見学会開催（理事、会員向け）
 - ・講演会開催
 - ・表彰制度における特別賞（EXPO2025）の創設
- それぞれについて、以下で詳細を紹介する。

2. 膜構造建築マップ（EXPO2025 大阪・関西万博）作成

EXPO2025 大阪・関西万博において、多数の膜構造・膜材料が使用されたため、協会では独自に調査を行い、膜が使用されている施設についてマップを作成した。作成にあたっては、東京大学生産技術研究所の武藤宝先生にご協力いただき、日本語版と英語版を作成した。合計67件の施設を掲載したマップを作成し、協会のHPへ掲載するとともに、各種講演等でも紹介をした。（独自調査のため、完全に網羅できているとは限らないが、見て確認できたものは全て入れ込んだ）

また、英語版でも同様の作成をし、当協会の英語版HPに掲載した。

3. 見学会開催

協会役員向け見学会及び会員向け見学会の2種類を計画した。役員向け見学会については、前述のマップ調査も兼ねて理事・幹事・事務局と武藤先生、施設を紹介する会員を含む計10名で、5月23日に見学会を実施した。



写真1：役員向け見学会の様子（万博会場外：夢洲駅）



写真2：役員向け見学会の様子（万博会場内）



図1：膜構造建築マップ

会員向け見学会については、現地での説明については混雑による混乱が予想されたため、前日に大阪の会議室で説明会を前もって実施し、前述のマップを配布し、当日はこのマップを元に自由に見学いただく方式とした。説明会は7月10日16時より、新大阪のアットビジネスセンター会議室を使用して行った。万博施設に多く関わった会員2社の担当者(太陽工業(株)藤木和孝氏、山口産業(株)山口健太氏、松尾堅志郎氏)より、それぞれご説明頂き質疑応答など活発な議論が行われた。終了後は近隣にて参加された会員と発表者とともに懇親会を行った。翌7月11日はマップを持参の上、会場内を自由に各自見学いただく形式とした。



写真3：会員向け説明会の様子（登壇者：藤木氏）



写真4：会員向け説明会の様子（登壇者：山口氏、松尾氏）

4. 講演会開催

3組の建築家を招き、9月3日銀座ブLOSSOM中央会館ホールにて講演会を開催した。タイトルは「挑発する膜建築」～万博で花開く新しいマテリアリティ～とし、豊田啓介氏、永山祐子氏、大西麻紀+百田有希氏（大西氏は所要により当日欠席）の3者に約1時間ずつ、主に関わられた万博施設についてご講演いただき、川口健一会長との質疑応答も活発に行われた。当日は約400名を超える参加者で大盛況であった。

講演会

『挑発する膜建築』

～万博で花開く新しいマテリアリティ～

万博施設の設計に携わられた建築家の方々に講演いただきます



豊田啓介
[NOIZ]



永山祐子
[永山祐子建築設計]



大西麻紀+百田有希
[o+h]





2025年9月3日 水

13:30 ▶ 17:30 (開場: 12:40)

会場: 銀座ブLOSSOM 中央会館ホール
東京都中央区銀座2-15-6 <https://ginza-blossom.jp>

申し込みフォーム (参加費無料) ▶ <https://forms.gle/mqQDpfN1GgHSuo4j8>

主催:  一般社団法人 日本膜構造協会

TEL: 03-6262-8911 FAX: 03-6262-8915
E-mail: info@makukouzo.or.jp <http://www.makukouzo.or.jp>

協賛: 公益財団法人 能村膜構造技術振興財団

〒532-0012 大阪府淀川区北川東4丁目8番4号
TEL: 06-6306-3163 FAX: 06-6306-0183
E-mail: notemuramaku@nto.tajiki-kyo.co.jp

図2：講演会リーフレット（参加者募集用）

講演会の様子は録画し、後日協会HPで動画のリンクを公開した（現在も掲載中）。

なお、実施にあたっては、能村膜構造技術振興財団の協賛をいただき、参加費は無料とした。



写真5：講演会の様子（豊田様、永山様、百田様講演）



写真6：講演会の様子（会場）



写真7：講演会の様子（永山様講演中、背後より撮影）



写真8：講演会の様子（永山様講演）



写真9：講演会の様子（百田様講演、客席より撮影）

また当日の会場ロビーでは、協会の日々の活動を紹介するために、前述のマップ及び近年協会ではじめた表彰制度について、過去の受賞作品のパネル展示も行い、後述する万博特別賞（EXPO2025）についても募集中である旨についても紹介した。

第一回	第一回
【膜構造デザイン賞】	【膜構造デザイン賞】
 <p>Building of Music (神田宮地ビル)</p> <p>表彰対象者(応募者) 相模研介 (株)相模研介設計アトリエ</p>	 <p>ホワイトラインII ~テンセグリティの構造システムを用いたサスペンション膜構造建築~</p> <p>表彰対象者(応募者) 今井金太郎 東京大学大学院工学研究科 川口雄一 東京大学大学院工学研究科 櫻井健次 東京大学大学院工学研究科 藤原孝 元太精工(株)・相模女子大学工学部 水谷直樹 筑波大学大学院(筑波大)研究家・地島日建設</p>
一般社団法人 日本膜構造協会	一般社団法人 日本膜構造協会

図3：展示パネル1、過去の受賞作品（膜構造デザイン賞）



図4：展示パネル2、過去の受賞作品（膜構造デザイン賞）



図5：展示パネル3、過去の受賞作品（技術賞）



図6：展示パネル4、過去の受賞作品（環境貢献賞）

5. 表彰制度における特別賞（EXPO2025）の創設

協会では、膜構造・膜材料等の一層の普及・発展のため、表彰制度（膜構造デザイン賞、技術賞、環境貢献賞）を定め、その実現に寄与した個人又は組織を対象に、応募・選考を経て表彰を行っている。2025年は万博イヤーであったことから、従来の賞の枠組にとらわれず、万博で実現した施設を対象に、

特別賞（EXPO2025）を創設し、8月に募集を開始した。2026年3月現在、審査・選考は進捗中であり、受賞者は2026年6月に行われる当協会の総会にて、表彰される予定だ。

第三回 膜構造デザイン賞、技術賞、環境貢献賞及び特別賞（EXPO2025）表彰候補者の募集

図7：特別賞（EXPO2025）の募集告知（協会HPより抜粋）

6. まとめ

2025年は万博が開催され、当協会・膜構造の業界にとっても活気のある年であった。膜構造は多くの万博施設で使用されたため、当協会以外のイベントや誌面、講演等においても、数多く紹介されていた。当協会でも今後の膜構造の普及・発展に寄与すべく、上記のような各種活動をおこなった。また万博の記録として英語版の動画も作成し、協会HPにアップした。興味のある方は参照いただきたい。



図8：記録動画（英語版）

6. 謝辞

昨年の万博に関する一連の活動におきましては、当協会会員をはじめとして、さまざまな方々にご協力いただきました。また、本文中にもふれましたが、講演会におきましては、能村膜構造技術振興財団より協賛をいただき、収容人数が多い会場で実施することができ、大盛況でした。皆様の多大なるご支援に感謝いたします。